

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 5月 9日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービスすてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	70%	10%	人員配置基準は満たしている。	送迎時の配置人数がギリギリの時がある為、またより良い支援を目指すためにも人材を確保・育成をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差がなく廊下には手すりが設置されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	0%	少しずつではあるが、職員の意識改革を進めている。以前より定着している。	引き続き、意識改革を進めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	90%	0%	対応可能なものについては全体で検討し、取り入れている。	行事や外出等についての要望は難しい面もあるが、検討し少しでも実現できるように進めていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90%	0%	毎年度、法人ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	20%		今後、第三者による評価の実施を検討していく必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90%	0%	定期的実施している。また、内部外部問わず参加できるものには積極的に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	90%	0%	定期的保護者との面談を行い、必要に応じて更新している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	0%		今後も担当者会議や日頃の情報共有等の中で児童の現状や把握や今後の方向性を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	60%	30%	自クラスの職員間で立案・検討を行っている。	役割分担を行うこともあるが、一部に負担がかからないよう引き続き職員間で話し合いを行い、活動プログラムを立案していく。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	90%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	10%	基本の流れとそれ以外の時間で予定を職員間で検討している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	90%	0%	現在は集団活動は自粛しているが、自由時間では関わりを持てるように配慮している。	今後も状況を見て、個別や集団活動を取り入れた支援を行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	60%	30%	口頭で伝え、何を行っていくかの申し送りしている。また、パートの職員にも情報共有するように心がけている。	長期休みなど、朝から児童対応等の際は難しい場面もある。その為、食事介助担当など役割分担を決める際、業務改善を行い、事前に準備できる事はやるように心がけている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	10%	終礼時等で行っている。振り返りや改善点などもあれば話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	10%	1つ1つの活動内容を詳しく記載するように努力している。また、研修で記載方法の勉強を行い改善に努めている。	引き続き記録記載についての研修等を行い、改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	90%	0%	最低半年に1回のモニタリングを行い、見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	10%	支援目標や内容はすぐに見れるようにし、行っている。	活動の組み合わせは行っているが、偏りが無いようにしていく。
	関係機関や保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	70%	10%	担当者、児童発達支援管理責任者、支援員等1人ではなく、複数で参画している。
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時の際だけでなく、メールやファックス、電話など必要に応じて情報共有等を行っている。	協力していただける学校もあるが、保護者を通して連絡調整を行う学校もあるため、必要に応じて学校と保護者と対応できるようにする。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	0%	書面でもしくは保護者を通じて取り組んでいる。必要に応じて直接電話でもやり取りを行っている。	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10%	70%	保護者からの聞き取りや、相談支援とのやり取りは行っている。	実際に利用していた事業所や保育園等との情報共有はできていない為、保護者からの要望や、事業所として情報があればやり取りを行っていく。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	20%	40%		保護者に意向を確認して、必要であればやり取りをしていく。

護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	50%	年間を通して児童発達支援センターの研修には参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	70%		話はあったが、現状(コロナ禍)では難しいところがある為、落ち着いたら行ってきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	50%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	0%	日々の申し送りや経過記録に記載するだけでなく、必要に応じて電話連絡で伝えたりしている。	今後も保護者との共通理解に努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	20%	50%	一部の職員がペアレント・トレーニングの研修には参加している。	研修に参加し、活かしていけるようにまずは研修等を通じて職員間で共通理解できるようにしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	0%	書面だけでなく必要に応じて直接説明も行っている。	今後も変更等があればその都度説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	70%	0%	保護者からの相談に応じ、必要であれば相談支援等の関連機関と情報共有を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	60%	行事ごとに保護者会を開催する予定であったが、コロナ禍で実施できていない。	状況を見て開催できるように検討して行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	0%	出来るだけ迅速に対応し、職員間で対策や改善を話し合い周知し、保護者へ説明を行うように努めている。	今後も迅速かつ適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	機関誌を発行している。また、行事についてはお知らせを配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	取り扱いには注意している。	今後も個人情報の取り扱いには、定期的に注意喚起していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	児童が直接聞くと不安になったりする可能性がある場合は、手紙や電話などで対応している。	今後も児童の特性に合わせて、必要に応じて連絡手段を考えて情報のやり取りをしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	30%	60%		以前は「ふれあい祭り」を開催して地域交流をしていたが、現在は自粛している。今後は状況を見て検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	10%	職員には訓練や研修等でも周知している。	必要に応じて保護者にも周知できるよう検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	10%	避難訓練等を行っている。また、年に2回を予定している館内全体の消防訓練も参加している。	避難に関しては参加人数がばらばらである(密集を避けるため)。避難訓練だけでなく、必要な物の確認や準備など様々なシミュレーションを定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	10%	毎年大阪府の研修に参加し、内部研修も行っている。	継続し、参加した職員による内部研修も行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	0%	保護者に説明し、必要な児童には主治医の許可も得ている。また、個別支援計画書にも記載している。	今後も職員間で討議し、保護者と相談していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	0%	保護者からの聞き取りで重篤なアレルギー症状がある児童については、主治医指示書をいただいている。	今後も必要に応じて指示書をいただくなどする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	90%	0%	ファイリングをしていつでも閲覧できるようにしている。また、終礼や会議の際に職員に周知している。	今後も継続していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービスつづぶ 保護者等数(児童数) 25 回収数 23 割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	96%	0%	0%	4%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	91%	4%	0%	4%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13%	17%	22%	43%	コロナ禍では難しいと思う。	状況を見て、検討していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	4%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26%	22%	26%	26%	保護者会があれば嬉しい。	状況を見て、少数ずつで行うなど検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	91%	4%	0%	4%	小さなことでもすぐに対応している。	今後も迅速に対応できるようにしていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96%	4%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	87%	13%	0%	0%		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	96%	4%	0%	0%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	4%	0%	13%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%	0%	0%	いつも楽しいと言っていて、情緒面の安定につながっている。休みの日も行きたがっている。	今後も来て楽しいと思っていただけるように対応していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	いつも丁寧に何事も行い感謝。	今後も継続して行っていく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。